



～地域とともに～

未来に向かう 潮見っ子



紋別市立潮見小学校学校運営協議会便り

第2号 令和3年3月8日

～令和3年度第4回学校運営協議委員会 2月28日(月)～

主な内容

- 令和4年度 学校経営方針(学校長)→承認
- 生活科・総合的な学習の時間について(各学年担任)
- 学校支援ボランティア…登校時、駐車場交通安全ボランティア報告
- 協議会委員感想報告



学校経営方針では次年度より『HyperQU』（学級内での人間関係を客観的にみる心理検査）が教育委員会で予算化され全学級で行われることなど、新たな取り組みが紹介されました。

交通安全ボランティア

協議会委員の佐賀さん、山崎さん、松本さん、長屋さんが登校時の駐車場で、子どもたちの安全を見守っている様子が紹介されました。冬場の駐車場は視界が悪く、更にスキーの運搬もあり児童にとっては危険がいっぱいです。大人の目で見守っていただけたことで児童の安全が守られた様子が紹介されました。

実際にボランティアの方から「結構楽しいです」「子どもが挨拶できるよう、何度も声をかけています」という感想が交流されました。4月からも継続していただくことを確認しました。



感想交流より～委員は2年任期です。次年度は委員が新たに任命されます。

「担任の先生のプレゼンテーションで、授業の様子がよく分かった。自分たちが学校に通っていた頃とは全然違う」「人生の糧となった。踏み込んだことを聞くことができ、学校教育を身近に感じた」「学力状況調査の結果から、国語・算数の学力が上がってきていることを感じた。今後、総合的な学習の時間を進化させると良い」「交通安全ボランティアを続けていきます」などの感想が交流されました。また要望として、学校評価アンケートの取り方、より学年のリレーションを大切にすること、潮見小地域にも子ども食堂が開設されると良い…などの意見が出されました。校長から「学校評議委員のおかげで、駐車場の舗装化など学校だけでは解決できない問題を実現することができた。今年度までは潮見小学校の学校教育を知っていただく発信が多かったが、次年度からは『地域として、こんな子どもを育てたい』という子ども像の共有など、一步踏み込んだ形でこの会を運営していきたい」との話があり、温かい雰囲気の中で2年間を締めくくりました。